

八学大が入学定員増 人間健康学科100人に

大学院設置の検討開始

八戸学院大学（水野眞佐夫学長）は8日、来年度から健康医療学部人間健康学科の入学定員を80人から100人に増やし、収容定員を320人から400人にすること、大学院設置の検討を開始したことを発表した。

同大は同学科の収容定員

増加について、昨年末に方針を固めて、今年6月に文部科学省に収容定員に関する学則変更を申請。8月に「認可」を受けた。

同学科では中学・高校の保健体育の教諭の免許や国家資格「社会福祉士」などの資格を取得することができ、同大は近年、入学志

願者数が増えており、入学者数が定員を超えている現状にあることから収容定員を増やすことにした。



入学定員増加について会見で説明する水野学長（右）と一戸利則学長補佐

大学院の設置はスポーツや医療分野の研究教育をさ

らに充実させ、地域で活躍する人材を育てる狙い。今後、大学院の具体的な研究内容や設置時期などについて、教職員の意見を集約するなどして検討を進めてい

くという。水野学長は「高い志を持って入学する学生が多いため、学生の学びを高めていけるように準備したい」と語った。（相澤賢育）